

経営比較分析表（令和6年度決算）

群馬県 太田市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	80.24	0.48	80.17	2,530

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
223,075	175.54	1,270.79
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,059	0.39	2,715.38

グラフ例	
■	当該団体値 (当該値)
—	類似団体平均値 (平均値)
□	令和6年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収支不足額について、一般会計からの繰入金（基準外）を前提としているため、100%を超えている。
②累積欠損金は発生していない。
③来年度に償還する企業債の減少により数値は上昇した。
④新規借入を行わず、また償還により企業債現在高が減少したため数値は下降した。
⑤使用料改定による使用料収入増により数値は上昇した。
⑥狭い範囲を整備するという事業の性質上、比較的高コストになりやすいが、公共下水道と一体的に事業運営していることで、維持管理費等が比較的低く抑えられている。
⑦公共下水道の処理場を共同利用しているため、計上なし。
⑧処理区域内人口の増よりも接続済人口の増の方が大きかったため、数値は上昇したが、全国平均を下回っている。

限定的な地域に対して投資を集中させる本事業の性格上、他事業と比べ投資割合が過大となり易い。また、公共下水道との一体的な事業運営が前提となるため、本事業の値のみでの経営判断は難しいと言える。

2. 老朽化の状況について

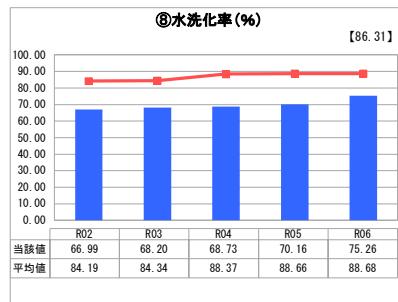
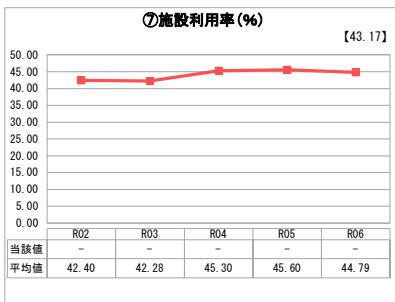
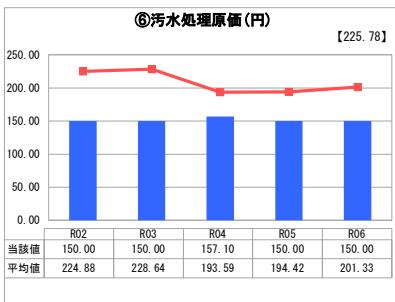
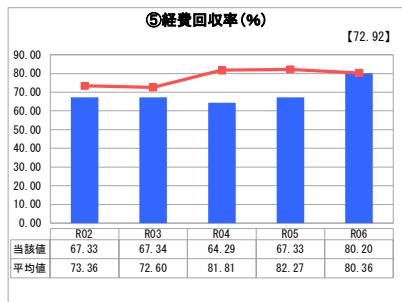
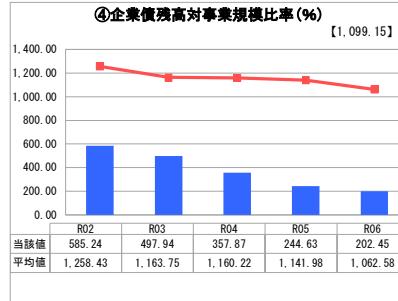
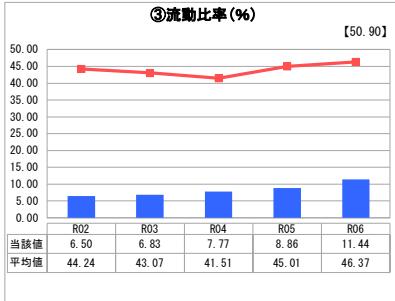
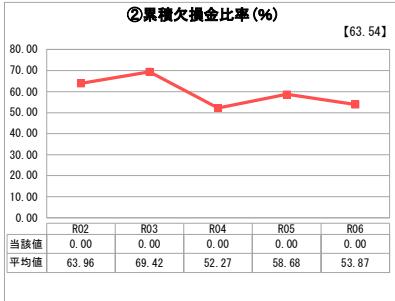
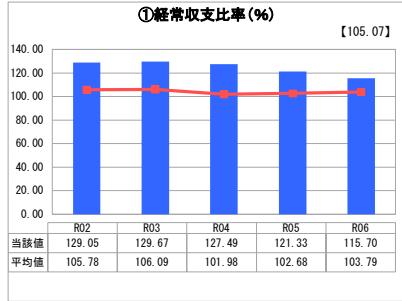
①新規の建設改良費の計上がなかったため値が増加した。
②法定耐用年数に到達したものがないため計上なし。
③法定耐用年数に到達したものがないため計上なし。

将来を見据えた公共下水道と一体的な長寿命化に取り組んでいきたい。

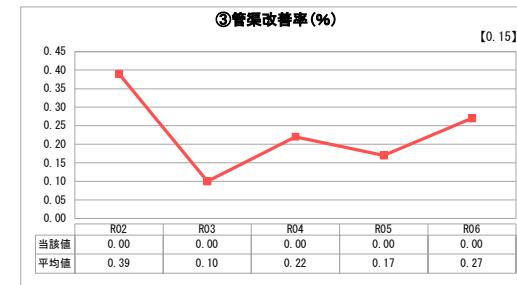
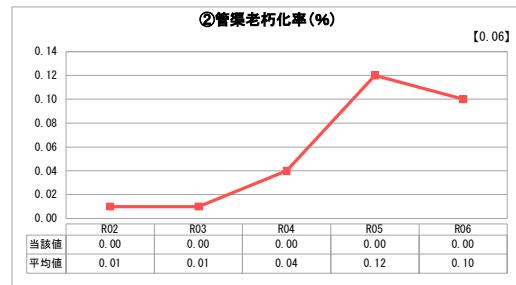
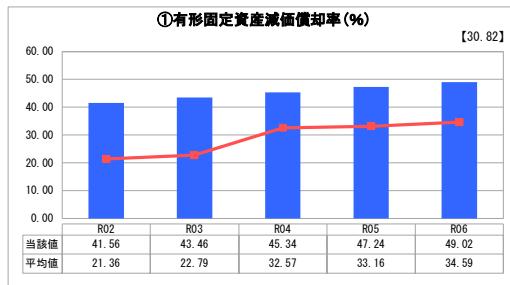
全体総括

未だ未普及地域が多く残り、すべての計画地域に対して下水道を普及させるには継続して多額の建設投資を行っていく必要がある。また、本事業は構造的に利益を生み出しにくい事業であるため、公共性を担保しつつ、いかに収益を向上させていくかが課題となる。令和6年6月検針分より、経費回収率を80%とする下水道使用料の改定を行った。引き続き計画的かつ効率的な経営に努めた。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。